

問1 幕末の動乱期において、大きな政治運動となった「尊王攘夷（そのんうじょうい）」の思想について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 沖縄公立入試 類似）

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 天皇を尊ぶ立場から、武力を用いてでも日本から外国人を排除しようとする考え方。 | 2. 天皇の権威を利用して外国人と協力関係を築き、幕府の体制を立て直そうとする考え方。 | 3. 幕府の権力を強めるために、外国の技術を積極的に導入して軍隊を近代化しようとする考え方。 | 4. 朝廷と幕府が協力して、外国との不平等条約を平和的な交渉によって解消しようとする考え方。 |
|---|---|--|--|

問2 19世紀、イギリスは清との貿易における銀の流出と赤字を解消するため、インドを含めた「三角貿易」の仕組みを構築しました。この貿易において、インドから清へ輸出された品物はどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）

- |      |        |        |        |
|------|--------|--------|--------|
| 1. 茶 | 2. 綿織物 | 3. アヘン | 4. 香辛料 |
|------|--------|--------|--------|

問3 1867年のパリ万国博覧会において、江戸幕府だけでなく、薩摩藩や佐賀藩が独自の旗印を掲げて出品を行いました。このように、幕府以外の有力な藩が独立した動きを見せた背景として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 富山公立入試 類似）

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 1. 幕府の権威が低下し、有力な藩が独自に海外との交渉や近代化を進める政治的実力を持つようになっていた。 | 2. 幕府が全国の藩に門戸を開き、各藩の技術を海外に平等にアピールする「挙国一致」の政策を推進していた。 | 3. 1860年に派遣された遣米使節団の報告により、すべての藩が条約締結権を持つことが法律で定められた。 | 4. 欧米列強が幕府との通商を拒否し、地方の藩との直接取引のみを希望したため、藩の展覧が義務付けられた。 |
|--|--|--|--|

問4 1858年に結ばれた条約に基づき、日本地図上において江戸に近い位置にあり、当時「神奈川」として開港が予定されながらも、実際には隣接する村が整備されて開港場となった現在の都市名を次の中から選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 函館 | 2. 下田 | 3. 横浜 | 4. 神戸 |
|-------|-------|-------|-------|

問5 1857年から1861年にかけて、江戸幕府はイギリス、アメリカ、ロシアなどの国々と条約を締結し、貿易が本格的に始まりました。これらの国々と結んだ通商条約において、日本側の主権が制限されていた内容の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2026年 山形公立入試 類似）

- |                                |                               |                                     |                                 |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 日本に関税自主権がなく、相手国に領事裁判権を認める内容 | 2. 日本に外交権がなく、相手国に港の永久割譲を認める内容 | 3. 日本に貨幣鑄造権がなく、相手国にキリスト教の布教義務を認める内容 | 4. 日本に土地所有権がなく、相手国に軍隊の駐留権を認める内容 |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|

問6 19世紀半ば、ペリー率いるアメリカ艦隊（黒船）が来航した際、これらの船はそれまでの帆船とは異なり、風の力を使わずに自力で航行することが可能でした。イギリスで始まった産業革命の技術革新によって開発され、石炭を燃料として大きな動力を生み出したこの装置の名称として適切なものはどれですか。（2019年 奈良公立入試 類似）

- |         |             |           |       |
|---------|-------------|-----------|-------|
| 1. 蒸気機関 | 2. ガソリンエンジン | 3. 電気モーター | 4. 水車 |
|---------|-------------|-----------|-------|

問7 江戸時代末期の歴史を記した年表において、1858年の日米修好通商条約が結ばれた直後の時期に、大老の井伊直弼が反対勢力を厳しく処罰した事実を示す出来事として正しいものはどれですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

- |          |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 安政の大獄 | 2. 戊辰戦争 | 3. 生麦事件 | 4. 禁門の変 |
|----------|---------|---------|---------|

問8 1853年にペリー艦隊が来航した際、幕府に開国を迫ったアメリカ合衆国について、当時のこの国の歴史的状況を説明したものとして正しいものはどれですか。（2015年 岡山公立入試 類似）

- |  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 1. 国内で奴隷制の是非や貿易政策をめぐる対立が激化し、1860年代には南北戦争という大きな内戦が起こった。 | 2. 清との間でアヘン戦争を戦っており、アジアにおける市場の独占をめぐるイギリスと激しく競っていた。 | 3. ナポレオンによる大陸支配から脱した直後であり、モンロー教書を出してヨーロッパ諸国との相互不干渉を唱えていた。 | 4. 第一次世界大戦の敗戦による混乱の中にあり、世界で初めて社会権を認めたワイマール憲法の制定準備を進めていた。 |
|--|--|---|--|

問9 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返したものの、旧幕府側の勢力が依然として政治的影響力を持つことを危惧した薩摩藩・長州藩などの倒幕派が、天皇を中心とする政治体制の確立を目指して発した宣言を何といいますか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

- |             |            |            |            |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 王政復古の大号令 | 2. 五箇条の御誓文 | 3. 版籍奉還の建白 | 4. 廃藩置県の詔書 |
|-------------|------------|------------|------------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 天皇を尊ぶ立場から、武力を用いても日本から外国人を排除しようとする考え方。	尊王攘夷とは、天皇を敬う「尊王」と、外来の勢力を排除し打ち払うという意味の「攘夷」が結びついた思想です。ペリー来航以降、幕府が独断で開国を進めたことへの反発や、貿易による経済混乱への不満から、下級武士を中心に激しい運動となりました。この運動は「外国人の排除」を目的としており、外国人に協力を求める性質のものではありませんでした。
問2	<b>答え 3</b> アヘン	イギリスは自国の赤字を解消するため、植民地であるインドで「アヘン」を栽培させ、これを清へ輸出しました。アヘンの代金として清から銀を回収し、その銀を茶の買い付け代金に充てることで、イギリスは貿易収支を好転させようとした。
問3	<b>答え 1</b> 幕府の権威が低下し、有力な藩が独自に海外との交渉や近代化を進める政治的実力を持つようになっていた。	幕末期、薩摩藩や長州藩などは幕府の統制を離れ、独自に海外からの武器購入や技術導入を強めていました。パリ万博では薩摩藩が幕府とは別に「日本薩摩太守政府」として出品するなど、幕府による日本統治が形骸化し、倒幕に向けた実力が蓄えられていた状況を示しています。
問4	<b>答え 3</b> 横浜	日米修好通商条約で定められた開港場の一つです。幕府は、東海道の宿場町として賑わっていた神奈川（現在の横浜市神奈川区周辺）を外国人と接触させることを避け、対岸の横浜村を整備して開港場としました。これが現在の横浜港の発展につながりました。
問5	<b>答え 1</b> 日本に関税自主権がなく、相手国に領事裁判権を認める内容	イギリスなどの欧米列強と結んだ安政の五カ国条約は、日本にとって不平等なものでした。具体的には、輸入品にかかる税率を日本が自主的に決められない「関税自主権の欠如」と、外国人が日本で犯罪を犯してもその国の領事が裁判を行う「領事裁判権（治外法権）の承認」が含まれていました。この時期のイギリスは、インド大反乱を鎮圧してアジア支配を強めるなど、世界的な影響力を持っていました。
問6	<b>答え 1</b> 蒸気機関	18世紀後半にイギリスで始まった産業革命により、石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されました。これにより、風や潮流といった自然の力に依存せず、強力な動力を得ることが可能になりました。ペリーの来航した「黒船」は、この蒸気機関を搭載した軍艦を含んでおり、当時の日本人に技術的な衝撃を与え、開国を促す大きな要因となりました。
問7	<b>答え 1</b> 安政の大獄	大老の井伊直弼は、天皇の許し（勅許）を得ないまま日米修好通商条約に調印しました。これに対し、条約締結に反対する大名や公家、および「尊王攘夷」を掲げる武士たちが激しく批判したため、井伊はこれらの反対派を弾圧・処罰しました。これが安政の大獄です。この事件の反動として、のちに井伊は桜田門外の変で暗殺されることとなります。
問8	<b>答え 1</b> 国内で奴隷制の是非や貿易政策をめぐる対立が激化し、1860年代には南北戦争という大きな内戦が起こった。	アメリカ合衆国が日本へペリーを派遣した時期は、国内で北部と南部の対立が非常に高まっていた時期にあたります。ペリー来航から数年後の1861年には南北戦争が勃発しました。この内戦の影響もあり、アメリカは幕末の日本に対して他国ほど強い軍事的関与を続けることができなくなりました。他の選択肢は、イギリス（アヘン戦争）、フランス（ナポレオン）、ドイツ（ワイマール憲法）に関する記述です。
問9	<b>答え 1</b> 王政復古の大号令	大政奉還が行われた後、徳川氏が実質的な権力を握り続けることを防ぐために発せられました。この宣言により、江戸幕府の廃止とともに摂政や関白といった従来の官職も廃止され、総裁・議定・参与の三職を置くなど、天皇による新しい政治の仕組みが整えられました。